

令和5年度「学校評価アンケート」の結果と今後の取組について

向春の候、保護者の皆様にはますますご清祥のことと拝察いたします。平素は、本校の教育活動推進のためにご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、この度はご多用のところ学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。教職員で成果や課題、対応策について協議いたしましたので、報告させていただきます。

◎10%以上増 ○5%以上増 △5%以上減 ▲10%以上減 (昨年度比。教職員は人数が少ないため倍。例：◎20%以上増…)

No	児童への設問	児童	保護者	教職員	保護者・教職員への設問
1	先生やおうちの人など、大人の言うことをよく聞いてがんばっている。	92.6	85.3	90.9	学校・家庭・地域(関係機関など)は互いに連携して教育目標達成に向かって取り組んでいる。
2	学校は楽しい。	91.4	98.5	100.0	学校の子供たちは、授業や行事を通して楽しい学校生活を送っている。
3	地震や火事の時の避難の仕方がわかっている。	97.7	84.6	66.7	学校の子供たちは、安全(交通・防災など)に関する知識をもち、安全を心がけた生活している。
	交通ルールを守っている。	98.2	△	◎	
4	安全に気をつけて登下校したり、けがをしないように遊んだり勉強したりしている。	96.2	78.7	84.8	学校・家庭・地域(関係機関など)は、互いに連携して通学路や学校の施設・設備の安全確保に努めている。
			△		
5	人の話をよく聞き、よく考えがばって学習している。	92.4	84.6	78.8	学校の子供たちは、学習にしっかりと取り組み、自分の学力を高めようとしている。
6	進んで本を読んでいる。	67.0	57.4	51.5	学校の子供たちは、読書に親しみ、読書をする習慣が身につけている。
		○	△	◎	
7	家で、宿題や自主勉強などの勉強をがんばっている。	90.4	61.0	51.5	学校の子供たちは、家庭でも学習に積極的に取り組んでいる。
				▲	
8	パソコンやタブレットを使った学習が好きだ。	91.6	91.9	97.0	学校の子供たちは、コンピュータなどのICTを活用した教育に意欲的である。
9	きまりやマナーを守って生活している。	93.4	91.2	60.6	学校の子供たちは、きまり・マナーを守り、正しい行動をしている。
			○		
10	いじめやいじわるをせず、みんなと仲良くしている。	95.7	80.9	87.9	学校の子供たちは、いじめや差別を防ぎ、よりよい人間関係を築こうとしている。
				△	
11	自分から進んであいさつをしている。	86.8	73.5	33.3	学校の子供たちは、進んであいさつができています。
			○		
12	早ね・早起きをして、健康に気をつけて生活している。	82.5	82.4	72.7	学校の子供たちは、生活リズムを整えるなど、健康的な生活を送っている。
				▲	
13	食べ物の好ききらいをせず、しっかり食べている。	77.2	79.4	72.7	学校の子供たちは、食の大切さを理解し、望ましい食生活を送っている。
			△		
14	進んで体を動かして遊んだり、運動したりしている。	87.3	78.7	84.8	学校の子供たちは、積極的に運動し、体力向上に努めている。
15	苦手なことがある子をからかたりばかにしたりしない。	92.6	76.5	84.8	学校は、家庭・地域(関係機関など)と連携して個に応じた教育を行っている。
				▲	
16			95.6	81.8	学校は、低学年や特別な支援が必要な児童がいる学級では、複数の教員で効果的な指導を行っている。
			○	▲	

数値は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせた数値の全体に対する割合(%)です。高い数値となっている項目もありますが、まだまだ課題もあるため引き続き取組が必要であると感じています。学校・家庭・地域が連携しながらよりよい学校づくりを目指していきたいと思っております。

①教育活動全般

- ・ 項目2の「学校は楽しい」と回答した児童は、9割を越えています。今年度5月8日よりコロナが感染症第5類に移行したことに伴い、学習や行事をコロナ前の形に戻して実施してきました。児童は学校での様々な学習活動にしっかり取り組むだけでなく、楽しんでいる姿も見られました。また、保護者・教職員は「学校での教育は、様々な課題があるもののおおむね望ましい方向に進んでいる」と考えているようです。今後も、学習活動をさらに工夫し、充実したものとなるよう努めます。
- ・ 項目16の低学年や特別な支援が必要な児童がいる学級での複数の教員配置についても、9割を越えて効果的だと評価していただきました。しかし、教職員で「▲」となっているのは、「教員が足りない。もっと増やしてほしい。」と感じているからです。さらに充実した支援が行える教員配置を教育委員会へお願いしてまいります。
- ・ 「クラスの数が多い、授業に参加できていない子もいる。」「若い先生方への負担が大きい。もっと予算を付けて教員を増やせないか。」→ 教員を増員していただければクラスを増やし、クラスの人数を減らすことができるのですが、報道されているように教員不足もあり厳しい状態が続いています。予算を増額してくれ臨時教員の募集をしていただいたケースもありましたが、応募が無く増員とならなかったこともありました。引き続き現状を県や市に伝え、増額の必要性を訴えるとともに、教職員の負担軽減、授業方法の工夫に取り組んでいきます。
- ・ 「特別な支援が必要な児童への対応を工夫してほしい。」→ 一人一人の特性を考慮し、保護者・関係機関と連携しながら対応するようにしています。突発的な行動があり本人に危険が及ぶ可能性がある場合や、他の児童に危害を加えたり、他の児童の学習の妨害になったりする場合は、安全・安心の確保を優先して対応することもあります。ご理解いただけますようお願いいたします。

②施設・設備

- ・ 「新校舎建築についての説明が不十分。工事による児童の活動への制限が心配。」→ 学校再編については、市教育委員会(学校再編推進室)が業務を行っています。資料は、市役所のホームページに掲載されていますので、そちらをご覧ください。現時点では、設計業者選定のための作業を行っており、今後、設計・工事についての詳細を検討していくようになる予定です。
- ・ 現在使用している校舎は老朽化が進んでおり、児童の安全確保や利便性の観点から、年間を通じて何度も改修していただけるよう市教委へ要望しています。また、市PTA連合会と市長の懇談会の場でも具体的な(裏面へ↓)

(おもて面より↓)

箇所をあげてお願いしています。本年度は、南棟1階のトイレの全面改修など数カ所の工事を行っていただけました。引き続き、要望していきます。

・「雨が降ると、南棟1階ペランダ前(西側)に大きな水たまりができ、靴や靴下が濡れる。」→ 板(すのこ)を置いたり、職員が水をかき出したりしています。スニーカーはどうしても水が入るので、長靴がおすすめです。

③安全・安心・健康

・項目3の安全教育(交通・防災・日常生活等)については、どんな時に、どこが、どのように危険か、どうしないといけないか、具体的に指導していかなくてはならないと考えています。避難訓練も、真剣に取り組み、自分事として捉えられるように事前・事後指導に努めます。これからも家庭と連携しながら、自分で考えて正しい行動ができるように指導していきます。

・「通学路で児童が歩く場所が狭い。」「蓋や柵がない用水路があり危険。」→ 通学路については、小松島市通学路安全推進協議会に通学路の改善を要望しています。危険な交差点のカラー舗装など、これまでに改善された箇所もありますが、歩道の確保・拡幅は難しいとの回答です。他の箇所は、進捗状況を問い合わせ、今後も続けて要望します。

・「赤信号なのにふざけて道路に出ようとしている児童がいた。」「線路上にふざけて出ていた。」「駅前バスを止めて乗っていた。」→ このような情報をお知らせいただいた時は、すぐに全教職員に伝え各学級で指導しています。今後も何かありましたら、すぐにご連絡ください。また、ご家庭でもご指導いただけたらと思います。

・「高木歯科の前の十字路に押しボタン信号を付けてほしい。」→ 今後も上記の協議会に要望を伝えます。

・「警察が月に数回横断歩道のところにいてくれないのか。」→ 同様の要望をしましたが、「無理だ」との回答でした。

・「タブレット学習による子供たちの視力低下が不安。」→ 学校では、一日中タブレットを使っているのではなく、紙と鉛筆を使う学習活動の方が多いです。タブレットを使う時も、長い時間ではなく、休憩も取りながら行っています。それよりも、「(家でタブレット・スマホを使って)長時間動画を見たりゲームをしたりして、困る。」という意見をよくお聞きします。学校でもタブレットやスマホの使い方について考える学習もしますが、是非ご家庭でも話し合ってくださいようお願いします。なお、学校のタブレットは、学習以外で使用するのは禁止です。

④学習活動

・項目8のICT(タブレットなど)を活用した教育については、児童・保護者・教職員とも90%以上の方から肯定的なご意見をいただいています。南校の児童は1年生から一人一台のタブレット端末をうまく使って自分たちの学習に役立てています。先生方も研修や研究授業を行い、授業改善を目指しています。

・「宿題をタブレットで出すのはやめてほしい」→ これからの社会を生きていくのに必要な情報活用能力を育成しながら豊かな学びを推進していくという国の方針により、小松島市内の小学校では令和3年9月より1人1台のタブレットを使用するようになりました。これにより、タブレットは、鉛筆や消しゴムと同じように学習で当たり前にする文房具として、学習に生かしていくことを目指しています。学校だけに限らず、家庭でもタブレットを効果的に使って、楽しくしっかり学習に取り組めるようになってほしいと考えています。もちろん、従来通りの鉛筆で紙に書くアナログ的な学習もしっかり行っています。

・「宿題が多い」→ 全国学力・学習状況調査の分析結果でも、学力の定着については家庭学習(宿題や塾等)も関連が大きいとされていますが、ご家庭により様々な考え方があります。「もっと出してほしい」とのご意見もお聞きしています。そこで、今後は、学校からは最低限してもらいたい量の宿題を出し、それ以上の学習は、自分で内容を決めて取り組む「自主学習」や、自分の力に合わせてどんどん進められるAIドリルを中心に行うようにしていきたいと思えます。もちろん、その日の体調やご家庭の事情、本人の学習状況により宿題をするのが困難な時もありえます。そんな時は、学級担任までご相談ください。

・「夏休みの宿題(自由研究、読書感想文等)は、時代に合っていない。やりたい人だけがやればいい。」→ 夏休みの宿題の量や内容については、検討する必要があると考えます。ただ、やりたいことだけをやるのではなく、大きな負担にならない程度の内容で頑張る取り組み宿題も大切ではないか、とも考えます。

・項目6の読書については、昨年度の反省を踏まえて、学校でも読書をする機会を増やすようにしています。引き続き、読書に興味を持って、読んでみたいなど思える本と出会える工夫を重ねていきたいと思えます。

・「『走って歩いて』(走った距離を加算して記録する持久走)を復活してほしい。」→ 南校の子は、普段から休み時間に運動場でよく運動をしています。また、体育では、秋から冬にかけて持久走や縄跳びをしています。学校としては多様な外遊びを認め、日頃から外でしっかり遊んで体力づくりができるよう声を掛けていきたいと思えます。

・「運動会をもう少し涼しくなってから行ってほしい。」→ 学期末や他の行事・学習活動の関係で大幅に時期を変更することは難しいですが、少しでも暑さがましになる時期にできないか検討中です。熱中症対策は徹底します。

・「学習以外でクラスで何か目標をたてて頑張ること、楽しいことがあると生活に張り合いができる。」→ 各学級で様々な取組をしていますが、より自主的でより楽しい取組ができるよう工夫していきたいと思えます。

⑤生活指導

・「ダメなところはしっかり叱ってほしい。」→ なぜダメなのかしっかり考えさせて、しっかり叱っていききたいと思えます。良いところは、どうして良いのか、周りの児童にも説明し、しっかり褒めていききたいと思えます。

・「挨拶を返してくれる子供たちが増えた。元気をプレゼントしてもらっている。」→ 挨拶をすることで心がつながり、より良い関係ができることを話していきます。今後も子供たちとともに教職員も大きな声で元気よく挨拶していきたいと考えています。

⑥その他

・「アンケートに『分からない』という回答も入れてほしい。」→ 次年度からそのようにします。

※ 特定の学年・学級・児童のことなど個別の事案については掲載していませんが、必ず対応いたします。また、紙面の関係でここに掲載していないことについても、引き続き協議し対応してまいります。

※ アンケートだけでなく、学校の取組へのご理解・ご協力、教職員へのねぎらいの言葉もたくさんいただいています。ありがとうございます。大変励みになります。今後ともよりよい教育活動を目指して精進してまいります。

※ 学校評価アンケートについてのお問合せ等については、窓口の教頭まで直接ご連絡ください。